

報道関係者各位

## ジャパンジュエリーフェア 2018 結果報告（速報）



今年の JJF は、3 日間の会期を通じた総来場者数が 14,293 人となり、昨年と比較して 290 人の増加となった。初日の午後から 2 日目にかけては国内の有力小売店の来場も含め会場が賑わっており、活発な商談が行われた。特に初日は即売、2 日目は企画提案の出展社が国内の新規小売店への販売・受注ができたという報告もあがるなど、この 1、2 年との比較においても購買意欲のある国内小売店の集客の増加が見受けられた。

例年にも増して多くの集客を図った海外バイヤー誘致については、香港フェアと JJF の日程の問題もあり、「香港でより良い商品を見たいので JJF での購入を控えていた」という声があがった一方で、「国内向けの販売が伸び悩む中で、今回は海外バイヤーによるまとまった額で購入があったため全体としては例年よりもプラスになった」という声も多数聞かれた。また以前のようにセカンドハンドやパールに集中するのではなく、海外展に出展している完成品出品企業が集結しているエリアへの集客も見受けられ、UBM が主催している 6 月・9 月の香港フェアとの連動は今後ますます重要なポイントになることが予想できる。

出展社の声としては、「地方、特に今回は西日本エリアの集客が少ない」といった声があがる一方で、「継続して出展しているが、今年も大手小売店との新規受注が成立するなど、やはり国内小売店の中でしっかりと良いものを探しに来るのは JJF だ」といった声も聞かれた。さらに、「JJF は出展社の利益を図るための“商談の場”ということ間違いはないが、二十歳の真珠キャンペーンや女性によるパネルディスカッションなど、“業界全体の活性化”についても考えているのがよくわかるし、年々その内容が良くなってきている」「ファッションショーはもちろん、セミナーと連動したスクリーン広告やチラシなど、ブース以外でも無料で PR できるサービスがあるのが嬉しい」という感想も多く寄せられた。

今年は JJA ジュエリーデザインアワード 2018 に小池百合子東京都知事が参列し、自身のジュエリーについての想いを語っていただくなど、日本におけるジュエリーデザインの最高峰をお披露目する場がさらに盛り上がりを見せた。また今年で 6 回目を迎えた「ジュエリー業界が選ぶ ウーマン オブ ザ イヤー」は、女優の松雪泰子さんが受賞。出展社からの“億単位のジュエリーが似合う女優”が選出されたことで、本企画のイメージアップにもつながった。さらに、NHK 朝の連続テレビ小説にも出演中ということもあり、パブリックメディアの取材が急増した。

今年はバーコードシステムの導入や海外来場者のパスポートチェックを実施するなどの警備の強化にも注力していたが、ピンクパンダのメンバーの 1 名は初日に検挙し、その他の盗難については現時点で確認されていないなど、近年開催されている国内展示会の中でもとりわけ出展社被害が少なく安全な商談の場となった。

1. 来場者登録数 速報

8月28日(火)	来場者受付カウンター登録数	7,035名	(6,805名)
8月29日(水)	来場者受付カウンター登録数	4,518名	(4,367名)
8月30日(木)	来場者受付カウンター登録数	2,740名	(2,831名)
合計	3日間合計受付カウンター登録者数	14,293名	(14,003名)

\* 上記数字は会場受付カウンターにおける登録者数

\* ( ) 内の数字は前年来場者登録数

2. 出展社数・参加国

12の国と地域から446社 (2017年: 15の国と地域から454社)

日本(416)、中国(1)、ドイツ(1)、香港(13)、イタリア(1)、リトアニア(1)、韓国(2)、台湾(5)、スリランカ(1)、タイ(3)、インド(1)、カナダ(1)

3. 次回会期

2019年8月28日(水)・29日(木)・30日(金)

東京ビッグサイト 西1・2ホール+アトリウム

本件に関するお問い合わせ先

※プレスリリース Vol.6 は公式サイト内のプレス専用ページでご覧になれます。

<http://www.japanjewelleryfair.com> (「jjf2018」で検索)

JJF 運営事務局 / UBM ジャパン株式会社 広報担当: 吉川 青江 (きっかわ はるえ)

TEL:03-5296-1020 E-mail: [info@japanjewelleryfair.com](mailto:info@japanjewelleryfair.com)

〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町 1-8-3 神田 91ビル



UBM